

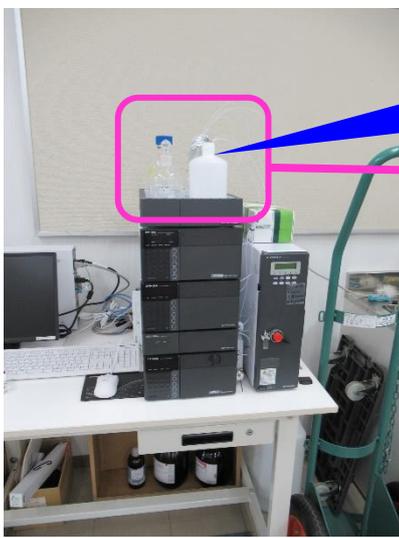
# HPLC 取扱説明書（自作簡易版）

2024年10月5日

合同会社播羊化学研究所

辻村 豊

(1) 展開液が十分な量か？を確認をする。



チューブが挿入されている瓶



(2) 本体の Power スイッチを押す。



スイッチは4か所

(3) 一番下の装置。

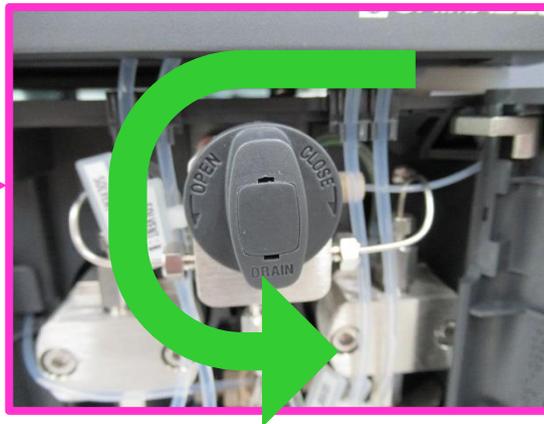


Push を押すと、扉が開く

(4) ドレインバルブを反時計方向に 180° 回す。



ドレインバルブ

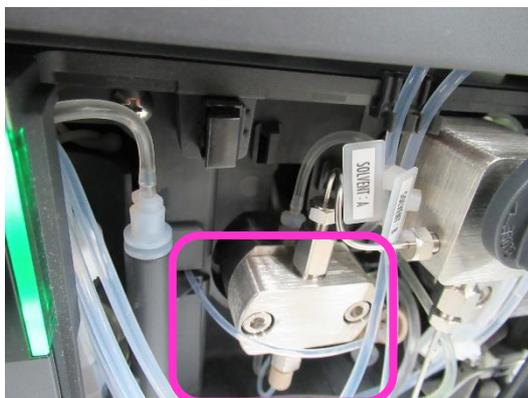


(5) Purge ボタンを押す。

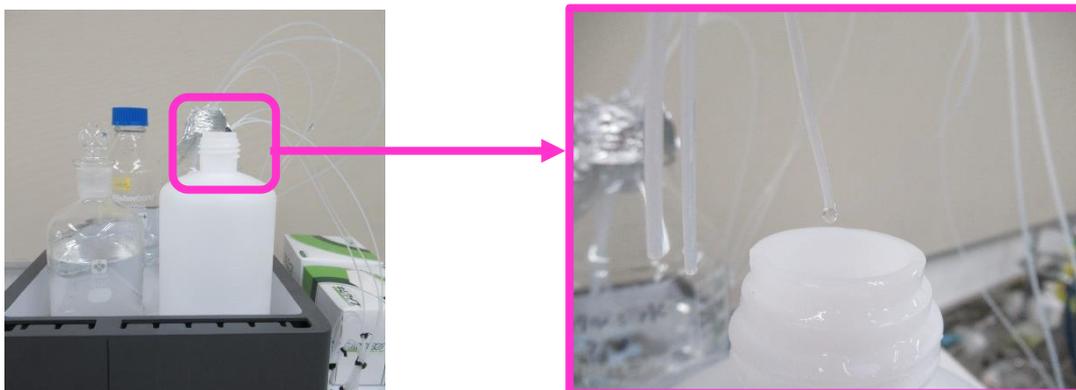
→表示が『PURGING LINE』に変わる。



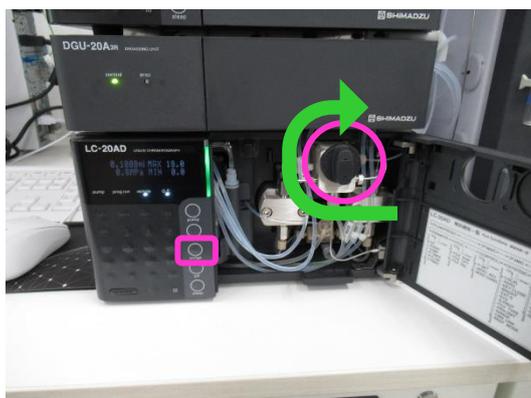
(6) 本体内部で泡の動きが見える場合がある。→Purge で空気を抜いている証拠。



(7) ドレインチューブの先から出る液の状態を約 10 秒間観察して、気泡が混じらず液が連続的に出ていれば正常。



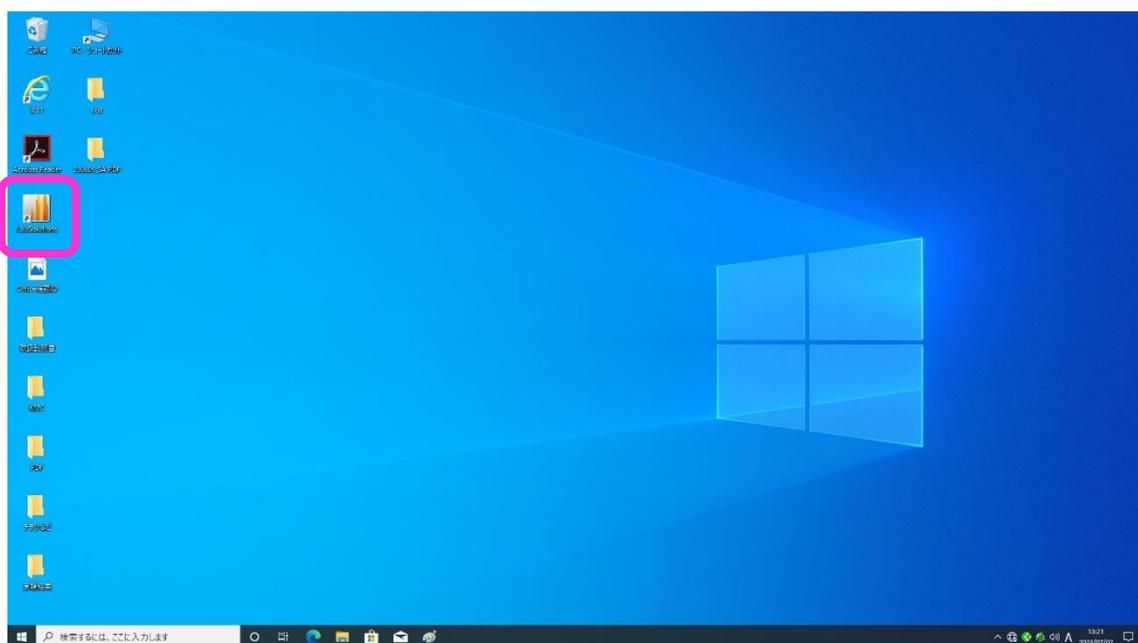
(8) Purge ボタンを押して、パーズを終了。ドレインバルブレバーを元に戻す。



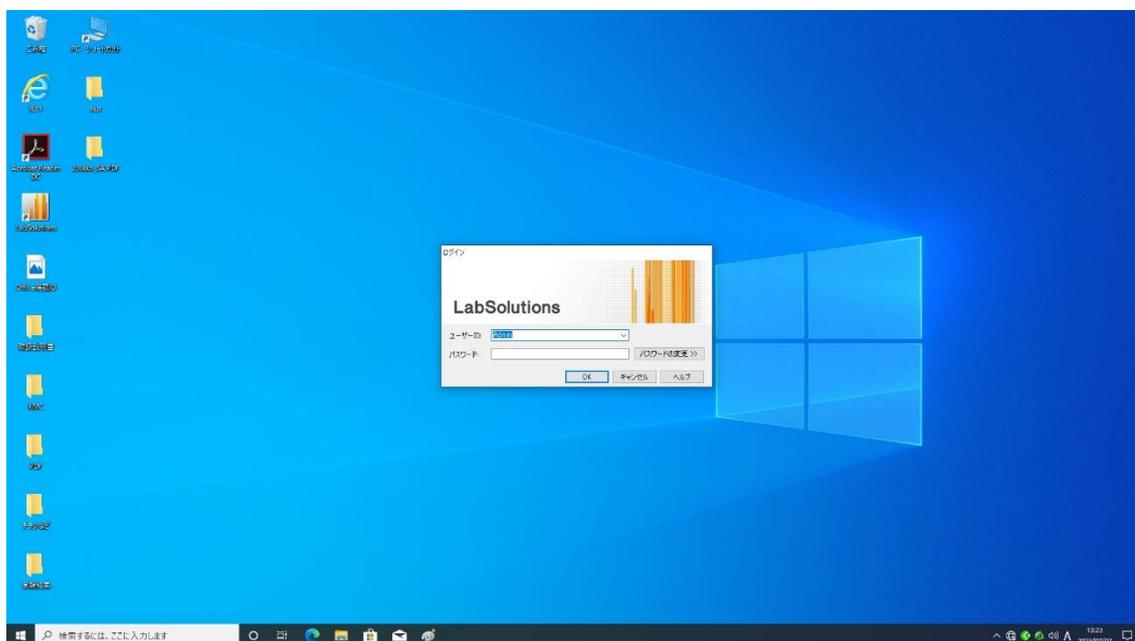
(9) パソコンの電源を入れる。



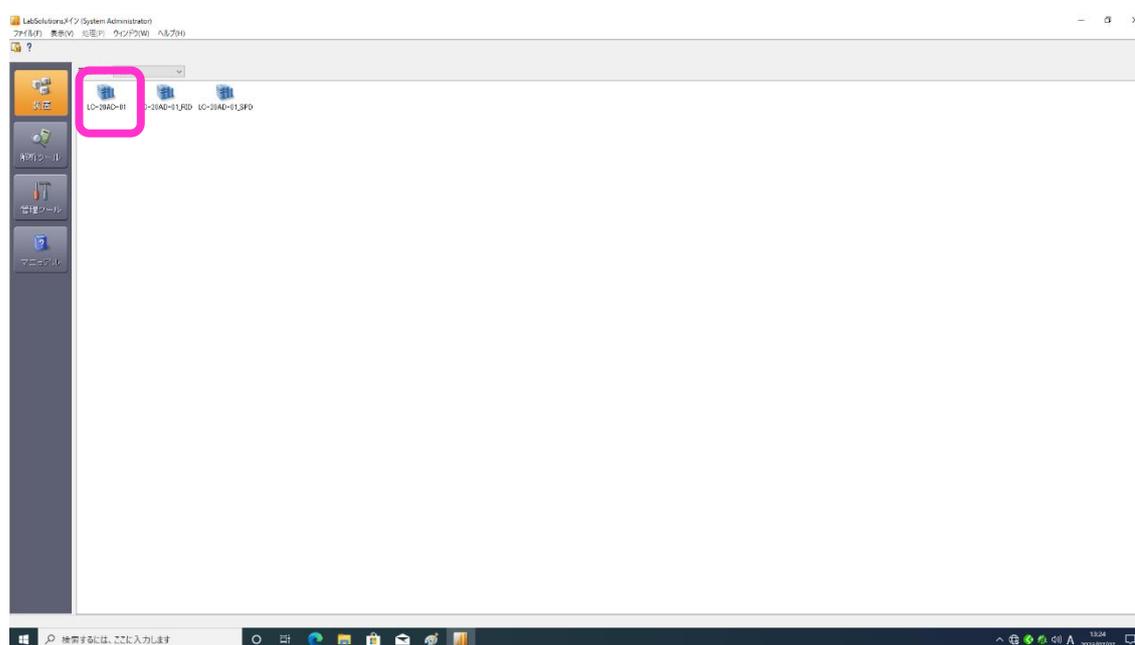
(10) 『LabSolutions』 をクリック。



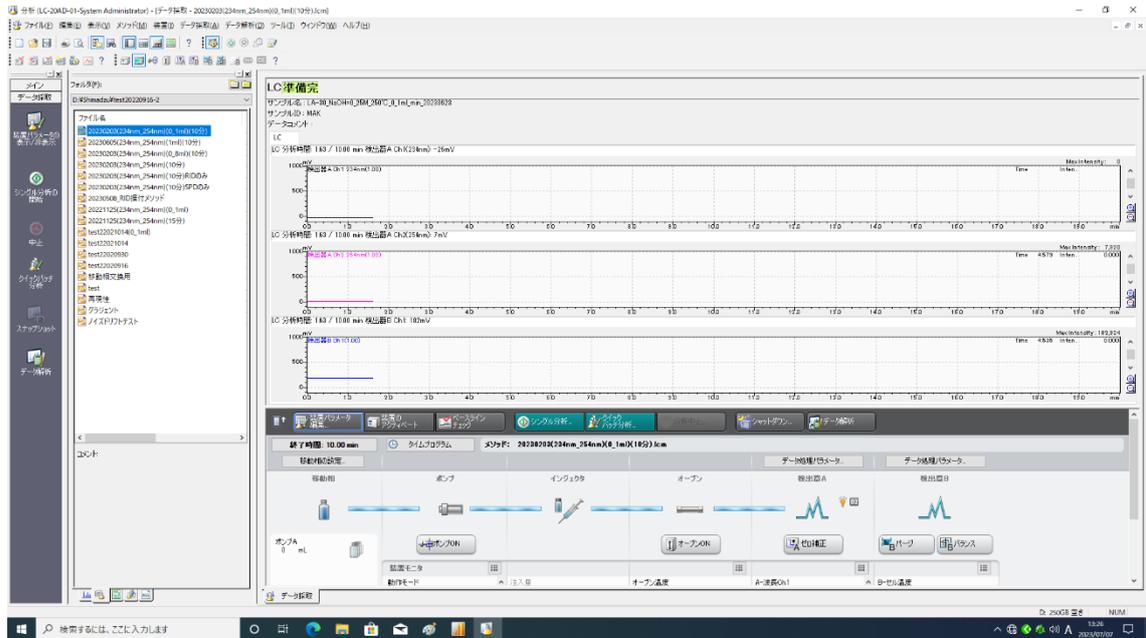
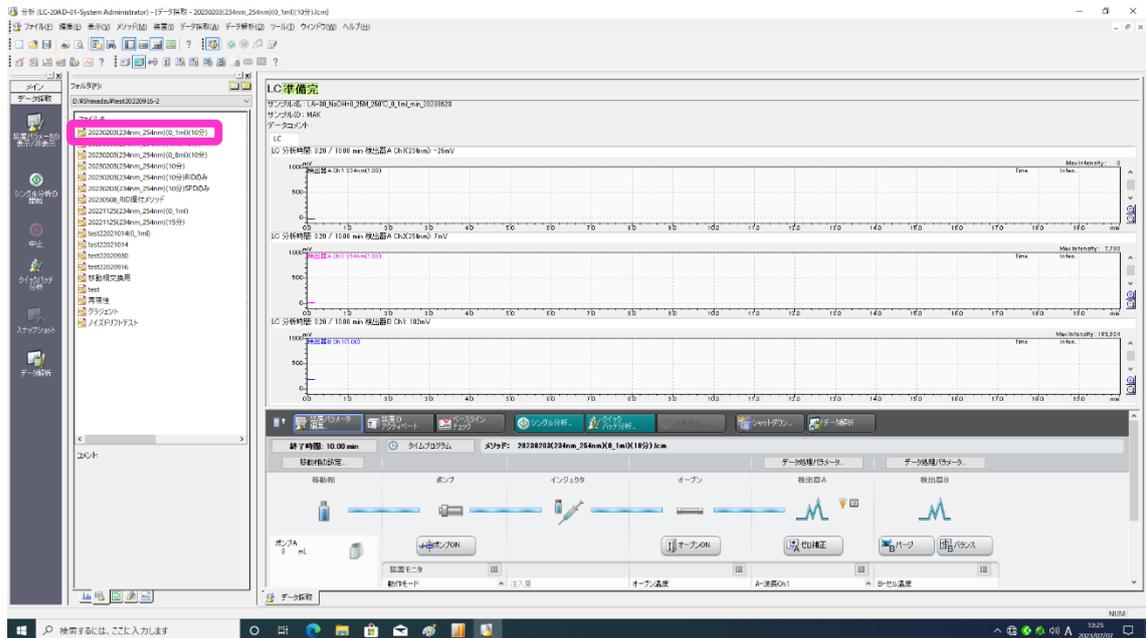
(11)そのまま『Enter』を押す。



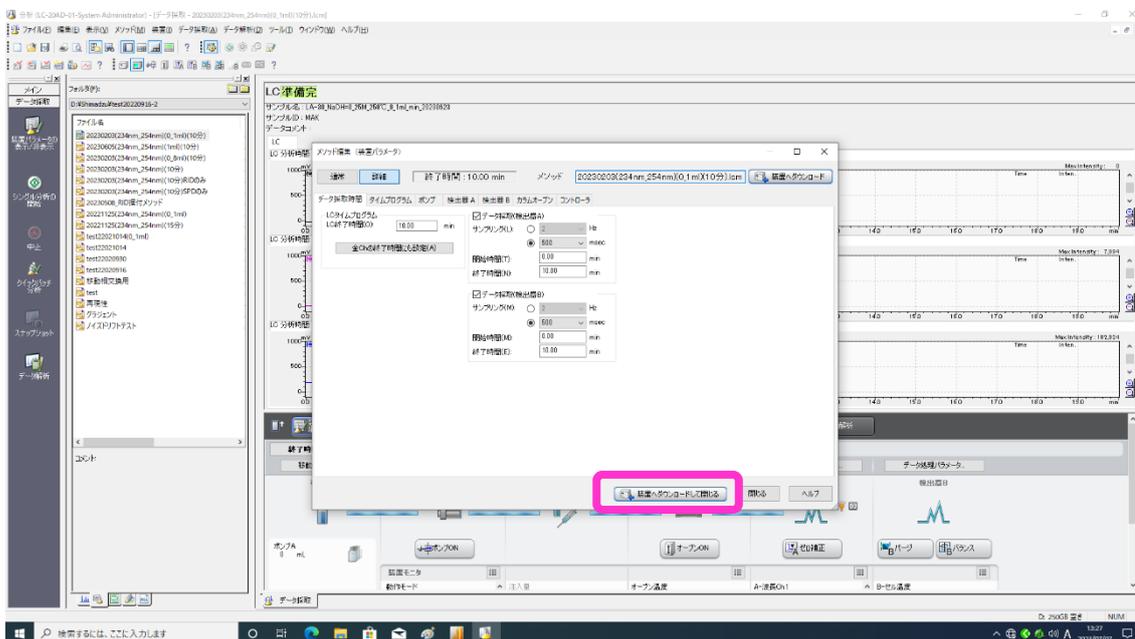
(12) 『LC-20AD-01』をクリック。



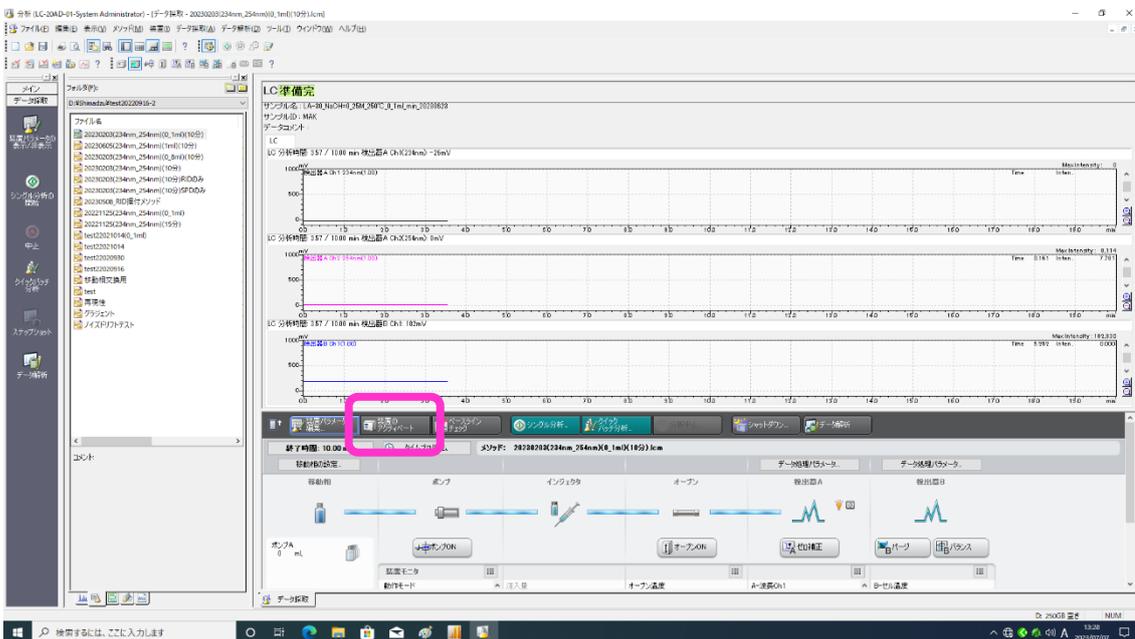
(13)メソッドを選択。ここでは『20230203(234nm\_254nm)(0\_1ml)(10分)』選択している。



(14) 『装置へダウンロードして閉じる』をクリック。



(15) 『装置のアクティベート』をクリック。→装置が動き出す。



(16) オープンなどが安定するまで待つ。

